

2 事業計画

(1) 事業計画の名称

様式1「事業計画申請書」に記載した事業計画の名称と同じ名称を記載してください。

ドッグランと露天風呂付き、犬と泊まれる古民家ゲストハウス

(2) 事業の概要

事業の内容をわかりやすく記載してください。(具体的なニーズや背景、起業に至った動機、将来の展望等のポイントを明確に記載してください。)

前職で、犬も室内同伴 OK の飲食店を運営する中で、愛犬家は犬と一緒に旅行にでかけ、犬も人もストレスなく過ごせる宿を探していることを知る。現在住んでいる住居環境なら、そのニーズを実現できることに気づき、ドッグラン付きの一棟貸しゲストハウス起業を決意した。
わが家は保護犬を迎えていて、家族全員が犬を愛し、大切な家族として生活している。世間でも『犬は家族』という認識が愛犬家にあり、犬と泊まれる宿へのニーズは高まっていて、愛犬家向けのサービスを導入する宿は増えている。旅行先でも犬と一緒に過ごせることが飼い主と犬の幸せになっている。ゲストハウスは、広いドッグランと高台にある露天風呂付き。自然の中でゆったりと過ごしなが、生きる楽しさや家族と過ごす時間の大切さを実感できる空間である。

(3) 事業の手法

開発・提供する商品やサービス等を示し、具体的内容、特徴・特色、それらを生み出すための取り組みをわかりやすく記載してください。

コロナ禍以降、モノ消費からコト消費へとシフトしているなか、ゲストハウスではドッグランだけでなく裏山でのブチ登山、露天風呂、囲炉裏、四季折々の景色や草花が楽しめる。
裏山は人工林を皆伐し、豊かな森を散策できるよう森作りと道作りを始めている。
古民家の風情を活かすインテリアをデザインし、初めて訪れた人でも田舎に帰るような居心地の良さがある空間を作ることで『日本の田舎暮らし』という文化体験もできる。
コト消費を目的とした観光は、長期滞在を推進できる。利用者の満足度は高くなり、「また来たい」という気持ちが出られ、丹波篠山への再訪者増加につながる。

宿泊中に体験できる景色、感情、体験などは、SNS を用いて随時発信する。ホームページ上でも、利用客の声、写真を掲載し、愛犬家へのアピールを継続して行っていくことで集客力を上げる。

(4) 事業の準備状況

①資格・届出等の取得状況 (※事業に必要なものに限る。実績報告時まで提出が必要です)

※ 資格・届出等の名称と取得の日付を記載してください(手続中・準備中の場合は「〇月頃取得(手続)予定」と記載)。

資格・届出等の内容	取得時期 (取得済／予定)
飲食店営業許可 旅館ホテル業営業許可	令和 6 年 7 月 5 日 (取得予定)
食品衛生責任者	取得済
開業届	令和 6 年 8 月 10 日(届出予定)

②空き家の契約状況 (空き家を活用する場合のみ)

契約の状況 (いずれかに ○)	契約(予定) 日	取得(予定) 年月日	所有者又 は契約者	築年数	空き家である 期間 (始期)	改修予定 箇所
購入／賃貸						
補足等						

(5) 事業のPRポイント

審査のために重要な事項ですので、分かりやすく記載してください。

新規性・ 独創性・ 優位性	○開発・提供する商品やサービス等と、従来からある類似商品・サービス等を比較した場合の新規性・独創性・優位性について記載してください。 宿には裏山の一部を含んだ広いドッグランを設け、宿との出入りをつなげる。近隣は100mほど離れた場所に民家が1件のみ、犬の鳴き声や犬同士のケンカの心配がない。以前の家主が作ったヒノキ露天風呂が裏山のすそ野にあり、時を忘れ堪能できるサービスを提供。一棟貸しでプライベートが守られているため、犬・飼い主ともにストレスのない宿は、都会の喧騒を離れ、家族である犬とともに出かけ、ゆっくり過ごしたいという現代人にマッチしたサービス・環境である。また、近隣のゲストハウスは犬と泊まれる宿が3件ほどしかない。食事サービスのない宿もあるが、丹波篠山には夕食に犬連れで行ける飲食店がない。犬向けには地元企業が作るこだわりのペットフードを用意する。 犬連れ客にとって料理サービスがある宿は、安心して利用でき優位性が高いと言える。
市場性 (成長性)	○商品・サービス等の市場性(顧客ターゲット、市場規模、販売先等)や将来性について、数値等を用いて具体的に記載してください。 顧客ターゲットは犬連れ客(愛犬家)である。 <ペット旅行に関するアンケート 対象ペット旅行経験者 1473 名> ・旅行に必ず愛犬を連れて行く 70%(うち約 67%が年 2 回以上行く) ・子どもなし、子育て終了世帯 88% 子育てへの支出がないぶん、経済面で比較的余裕がある層が旅行に出かけている ペット関連市場は年々拡大し、21年度に1兆7千億円で5年で15%の伸び、24年度には1兆8千億円に上ると予測されている。ペットツーリズムという言葉ができるほど、愛犬家にとって犬と一緒に泊まれる宿は需要が高く、宿自体が旅の目的にもなっている。さらに家族である犬が快適に過ごせるかが、飼い主が宿を選ぶ条件として優先される傾向が出てきている。
マーケティング 戦略	○事業を実施する場合のPR方法、販売予定価格、マーケティング手法などを具体的に記載してください。(ウィズコロナの観点からの取組があればあわせて記載してください。) 宿泊費は1棟貸1組(5名迄) 70,000 円、追加 15,000 円/1 名(追加 2 名迄最大 7 名) 前職で、取材を受けた丹波新聞、神戸新聞、雑誌ぴあの記者に取材を依頼する。 ターゲット(愛犬家)へは、運営中 Instagram の愛犬家フォロワー(約 1500 人)に、ゲストハウスの告知、新アカウントへの誘導を行い、その他犬連れ客向けに宿情報を発信してアプローチする。 コロナ禍以降、愛犬と旅行に行きたい意欲は高く(愛犬家 225 人中 70%)、飼い主が宿を選ぶときの最重要事項(全体数 1473)は、犬が自由に遊べるドッグラン施設などがあるか(17.5%)、愛犬と一緒に食事を食べられるか(47%)。愛犬との旅行意欲が高い昨今、ドッグランと食事提供のある宿として、ホームページ・SNS(Instagram)にて、2024 年 1 月より宣伝をはじめている。ホームページはアクセス数を増やす SEO 対策をして集客につなげる。
地域経済 活性化への 波及効果	○事業が実現されることにより、地域経済の活性化へどのような効果があるかを記載してください。 宿泊施設増設で、『丹波篠山市観光まちづくり戦略、2030 宿泊者倍増』の一役を担う。丹波篠山市の観光客は年々増加しているが、観光客にしめる宿泊客の割合が 5%と圧倒的に日帰り客が多い。(兵庫県洲本市では 54%) 丹波篠山市の宿泊者数は、近年で目標値の 80%台と未達成が続いていて、宿泊者増加は市の重要な取り組みの1つである。 また、地元農家と提携し、地元食材をメインに使った料理を提供するので、地域の農産物をアピールし、消費を増やす効果が期待できる。 そのほか、害獣対策で駆除した鹿肉・骨を使った犬用おやつを作る地元企業、地元スーパー、鶏肉業者を利用することで地域活性化につなげる。

(7) 事業(創業・第二創業)のスケジュール

※網掛け期間に実施した内容は補助対象外となります。
※「助成金の使途」に記載する内容は、スケジュールにも記入してください。

具 体 的 な 実 施 項 目													
記入例	2024 年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025 年 1月	2月	3月
		<子育て交流カフェ> メニュー開発			開業準備・開業届提出			カフェ営業開始					
			実施物件調査			物件改修		広報活動		子育て教室サービス開始			

令和5年度	2023 年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024 年 1月	2月	3月

令和6年度	2024 年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025 年 1月	2月	3月
		メニュー開発		開業準備				ゲストハウス営業開始					
			物件改修										
		広報活動								カフェ営業開始			
				飲食店営業許可 旅館ホテル業営業許可取得									
				● ● 開業届提出									

		開業1年目	開業2年目	売上高、売上原価(仕入高)、経費を計算した根拠を記載してください。
売上高 ①				<開業当初> 売上(開業当初は週末のみ) 宿泊 2名1組 70,000円×8日=560,000円 夜食事 6,000円×2名×8日=96,000円 カフェ週1営業 2000円×10人×4日=80,000円 売上原価 35%(勤務時の経験から) 人件費:家族従業員1名(妻)150,000円 減価償却費 【建物】295万×0.1÷12=24,583 10年償却 【設備】173万×0.2÷12=28,833 5年償却 その他経費:売上の7%で計上(主に光熱費) <開業2年目> 売上(週5営業:水木金土) 宿泊 1,000,000円 水木 55,000円×2日×4週 金土 70,000円×2日×4週 夜食事 168,000円 6,000円×2名×4日×4週 カフェ週1営業 200,000円 2,000円×25人(2.5回転)×4日 売上原価 35%(勤務時の経験から) 人件費:家族従業員1名(妻)250,000円 減価償却費:開業当初と同様 その他経費:売上の7%で計上(主に光熱費)
売上原価 ②				
経費	人件費(注1)			
	家賃			
	支払利息			
	その他(減価償却費)			
	その他(経費)			
	その他()			
	経費計 ③			
利益①-②-③				

(注2)第二創業の場合、今回の事業にかかる見通しのみを記載し、既存事業の損益計算書を併せて提出してください。

調達の方法	金額	内訳(相手先・助成金名等)
(1)自己資金		
(2)借入		○親族、知人、金融機関等からの借入を記載してください。 円) (円) (円) (円)
(3)助成金		○今回の助成金、他の助成金を記載してください。 起業家支援事業助成金 (1,000,000円) 丹波篠山市起業支援助成金 (1,100,000円) (円)
合計(1)+(2)+(3)		

8

(様式3)

助成金の使途

(単位：円)

区 分		対象経費の内訳 (令和6年4月1日から令和7年1月31日までに物品等の引渡しや 役務の提供及び支払いが完了する経費に限る。)	助成対象経費の額		
① 起 業 に 係 る 経 費	事務所 開設費	内装工事費		円	
		窓枠サッシ工事費		円	
		厨房工事費		円	
		塗装費用		円	
		清掃費		円	
			小計(a)		円
	初度備品費	畳(備品)		円	
		エアコン(備品)		円	
		寝具レンタル(備品)		円	
		照明器具(備品)		円	
		小計(b)		円	
専門家経費			円		
		小計(c)		円	
事業費	ロゴ製作費		円		
		小計(d)		円	
		起業に係る経費 計(e=a+b+c+d)		円	
		助成金申請額Ⅰ (e×1/2 ※上限100万円)		円	
② 空 き 家 に 係 る 経 費	空き家 改修費			円	
				円	
			空き家活用に係る経費 計(f)		円
		助成金申請額Ⅱ (f×1/2 ※上限100万円)		円	
③ 移 住 に 係 る 経 費 (ふるさとの み)	転居費			円	
			小計(g)		円
	住居費			円	
			小計(h)		円
			移住に係る経費 計(i=g+h)		円
			助成金申請額Ⅲ (i×1/2 ※上限100万円)		円
助成金申請額合計(Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ)				1,000,000円	

※ 科目ごとに、品名・サービス名、単価、数量などを記入してください。

※ 区分ごとの記入欄は必要に応じて大きさを変更してください。

(注1) 第二創業の場合は、第二創業の実施に必要な経費として、明確に区分できるものに限りします。

(注2) 助成金申請額は、助成対象経費合計額(e)、(f)、(i)の1/2以内で、千円未満は切り捨てとし、
上限はⅠ、Ⅱそれぞれ100万円以下です。

(注3) 採択時、助成金申請額Ⅰ、Ⅱが助成金交付額の基準となります。